

1. 件名：「浜岡原子力発電所 3号炉及び4号炉の地震等に係る新規制基準適合性
審査に関する事業者ヒアリング(144)、(177)」

2. 日時：令和5年7月5日(水) 16時00分～18時00分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官※、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査
官、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与、山下技
術研究調査官、道口主任技術研究調査官

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 原子力土建部長
他7名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち地震以外の要因による津波につ
いて
- ・ 浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち地震以外の要因による津波につ
いて（コメント回答）
- ・ 浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち地震以外の要因による津波につ
いて（補足説明資料）
- ・ 浜岡原子力発電所 新規性基準適合性審査 指摘事項リスト

時間	自動文字起こし結果
00:00:03	A 規制庁地震津波の続きです。それでは時間になりましたので浜岡原子力発電所地震以外の要因による津波の、
00:00:11	コメント回答 2 回目のヒアリングを始めたいと思います。
00:00:14	資料としては、本日 7 月 1 日付けで、今のコメント会と、あとは、それを取り込みました本編と、
00:00:26	補足資料、羽田の修正ですかね、資料が出てきてますので、まず、前回からの反映。
00:00:34	について中部で 1 から説明をお願いし、
00:00:39	はい、中部電力の尾川です。
00:00:41	前回 6 月 28 日の日にヒアリングを実施していただいております、その際いただきましたコメントを反映した資料を本日まで説明させていただきたいと思います。
00:00:50	およそ説明時間 10 分程度となっておりますので、担当の方からご説明させていただきます。よろしくお願いいたします。
00:00:59	中部電力の永松です。それでは、浜岡原子力発電所基準津波の策定のうち、地震以外の要因による津波のコメント回答について、コメント回答資料を用いて、前回ヒアリングからの変更点を、
00:01:12	ご説明いたします。
00:01:14	まず 10 ページをお願いします。
00:01:22	海底地すべりの津波評価の検討概要について、今回、各検討のステップの結果として、抽出した地すべりの名称や、津波高の数値を追記してございます。
00:01:35	また、次の 11 ページに、検討フローとして、海底地すべりの検討過程を追加いたしました。
00:01:43	元の海底地すべりに関する調査で、敷地に影響をおよぼし得る 30 地点の海底地すべりを抽出し、
00:01:51	続く、検討対象とする地すべりの選定では、津波の指向性を考慮した 4 領域に区分した後、堆積距離に基づき、それぞれの領域で検討対象を選定しています。
00:02:03	海底地すべりの津波評価では、複数の手法を用いた数値名称を実施し、
00:02:08	敷地前面で最大、TP の +6.3 メートルという結果を終えています。
00:02:13	13 ページをお願いします。
00:02:20	火山現象の津波評価についても、同様に検討概要で最終結果の津波高の数値等がわかるように変更してございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:02:30	続く 14 ページにこちらも火山の検討過程を追加してございます。
00:02:35	火山現象の津波評価では、敷地に津波影響をおよぼし得る個別火山を抽出し、抽出した火山について、評価対象とする津波発生要因ごとに、
00:02:45	過去の発生の有無とその規模を調査し、いたしました。
00:02:49	これに基づいて、その下の津波評価では、津波予測式に基づく評価を実施して、相対的に敷地の影響が大きい御蔵島の山体崩壊については、
00:03:00	複数手法での検討を実施することとして、数値シミュレーションによる検討も実施した結果、敷地前面で最大でプラス 2.9 メートルとなりました。
00:03:11	また、過去の情報が不足している海底火山については、仮想的な噴火規模による影響検討も実施してございます。
00:03:20	続いて、23 ページをお願いいたします。
00:03:32	ナンバー1 のコメント回答についてですが、中段のコメントを踏まえた対応の記載を、前回比を踏まえて充実化させるとともに、前回、同じページで記載していました。
00:03:44	地すべりの同時発生に関する検討概要については、次のページ、24 ページに移して、こちらも記載を充実化してございます。
00:03:52	まず、23 ページの方ですが、コメントを踏まえた対応について、
00:03:56	海底地すべりが同時発生した場合の影響を確認では、複数の地すべりが一体となって移動すると仮定し、地すべり地形分を包絡する一つの地すべりとして、同時発生の波源モデルを設定して、
00:04:09	津波評価を行っていることを明記いたしました。
00:04:12	また、同時発生による評価結果の分析を追加で実施し、S26 から 29 地点の同時発生では、単独の地すべりよりも、地すべり体の寸法があまり大きくならなかった一方で、
00:04:25	単独発生の波源モデルよりも下方に波源が広がり、書記一致水深が深く大きくなった影響により、
00:04:32	津波高がやや小さくなったと考えられることを確認いたしました。
00:04:37	この同時発生による、
00:04:39	評価結果の分析の結果から、
00:04:41	地すべり体の体積敷地からの距離に加え、地すべり体の初期位置水深が、津波評価に与える影響も比較的大きいと考えられることを踏まえ、
00:04:51	地すべり体の体積敷地からの距離に基づき、行った検討対象とする海底地すべりの選定結果が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:04:59	ショクイチ推進の観点からも妥当であることを確認いたしました。
00:05:04	24 ページは、まず、
00:05:07	地形判読調査として、
00:05:09	ここの地すべりの発生間隔は、同時発生とみなせるような、短いものではなく、
00:05:15	時間経過を置いて、順番に発生したと考えられること。
00:05:19	その上で、下の同時発生の影響確認では、どのような地すべり、
00:05:24	海底地すべりを想定したのか、記載を追記いたしました。
00:05:29	ここまでは前回審査会合で実施した、実施した内容で、今回、コメント回答に伴い、その下の赤枠で囲っています同時発生による評価結果の、
00:05:40	分析を追加し、初期 1 推進の影響も比較的大きいことを確認いたしました。
00:05:46	またこれを踏まえて、一番下の選定結果の妥当性確認として、
00:05:51	検討対象とした海底地すべりの選定結果が、ショクイチ推進の観点からも妥当であることの確認を追加いたしました。
00:06:00	続いて、
00:06:01	25 ページ。
00:06:02	26 ページが、波源モデルの設定についてですが、下に示しています断面図の横軸の 0 点が、地すべりの端部になるように、
00:06:13	グラフの表示を修正しています。
00:06:17	29 ページから 31 ページには、補足説明資料に掲載していた、津波伝播状況のスナップショット等を、コメント回答資料にも掲載することにしてあります。
00:06:28	32 ページから 34 ページの計算結果に関する分析については、
00:06:33	初期水位の、波長に関する記載を、分析からは削除いたしました。
00:06:38	また、32 ページには、初期水位の変化率が、
00:06:43	上側の S21 から 25 地点の表では 2.7 倍。
00:06:47	下側の S26 から 29 地点の表では、0.9 倍であることを追記するとともに、
00:06:53	S26 から 29 地点の初期水位初期位置水深が大きくなったことで、初期水位がやや小さくなったと考えられることを記載いたしました。
00:07:04	35 ページをお願いします。
00:07:10	同時発生による評価結果の分析を踏まえて、評価対象とする海底地すべりの選定結果の妥当性確認のページを追加いたしました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:07:20	検討対象とする海底地すべりは、津波の指向性を考慮した領域ごとに、津波評価への影響が大きいと考えられる体積と距離に基づき選定していますが、
00:07:31	今回同時発生に関する影響分析の結果から、地すべり隊の初期位置水深が津波評価に与える影響も比較的大きいと考えられることから、
00:07:41	検討対象の選定結果の妥当性確認として、
00:07:44	ここの地すべりの初期位置推進を確認いたしました。
00:07:48	その結果を、表に記載してございますが、敷地に最も影響の大きいs26地点の海底地すべりの初期位置水深は比較的小さいこと。
00:07:59	また、シヨクイチ水深がS26地点よりも小さい海底地すべりはすべて検討対象として選定できていることを確認し、
00:08:07	地すべり体の体積敷地からの距離に基づき行った検討対象とする海底地すべりの選定結果について、
00:08:15	地すべりの初期値推進の観点からも妥当であるということを確認いたしました。
00:08:21	続いて火山現象の津波評価の変更点に入っていきます。
00:08:25	まず40ページ、41ページ。
00:08:28	します。
00:08:30	うん。
00:08:40	まず40ページ40ページですけども、右上に、
00:08:44	海域火山のデータを最新化したということを記載してございます。
00:08:50	すいません
00:08:51	失礼いたしました。41ページ40ページです。
00:08:55	続いて46ページ。
00:08:58	お願いします。
00:09:03	46ページはNo. 3コメント回答の概要についてですけども、仮想的な噴火規模による影響確認の追加で用いる100立方キロメートルという噴火規模について、
00:09:14	下の箱書きの3ポツ目の2機を2行目の中央辺りからですけども、仮想的に伊豆小笠原郡区域を含めた伊豆小笠原弧全域における過去最大の噴火規模よりも、
00:09:26	さらにワンオーダー大きい北海道九州周辺の巨大噴火の履歴を持つ地域の火山と同規模の海中噴火カルデラ陥没等として設定した。
00:09:36	ということを記載、追記してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:09:39	また、52 ページには、その根拠として、
00:09:43	巨大噴火の履歴を持つ地域と、伊豆小笠原弧海域との比較を、本編の再掲という形で掲載してございます。
00:09:54	続いて、52 ページ、54 ページ。
00:09:58	します。
00:10:02	54 ページ、これこちらが仮想的な噴火規模による影響確認の津波高の算定結果。
00:10:09	になりますけども、この表の下から 2 行目、
00:10:12	2、噴火継続時間終了時の津波高、具材 0 を追加してございます。
00:10:20	コメント回答資料に関する変更点は以上で、続いて本編資料の 115 ページをお願いします。
00:10:33	本編資料の 115 ページ。
00:10:45	火山現象の津波評価の方針について、前回下の方に追記、注記してございました海中噴火カルデラ陥没等が、海中噴火による影響によって代表して評価しているということについて、
00:10:59	箱書きの 3 ポツ目に移動させるとともに、根拠の文献の追記、記載も追加いたしました。
00:11:06	まず箱書きの 3 ポツ目ですが、
00:11:09	海中噴火が発生した場合は 1 噴火による海面上昇と、カルデラ陥没等による海面効果の両要因により、津波が発生する可能性がございましたが、
00:11:19	海中噴火等カルデラ陥没等は一体の現象であり、
00:11:23	幾度もの噴火を経て段階的に形成されるカルデラの体積と、過去にマグマだまりから流出した総マグマ体積は同程度であるとされること。
00:11:33	前野、安東今村 2011 等によると、海中噴火の津波とカルデラ陥没の津波は、第一波の押し引きが異なるが、津波の大きさは同程度であると考えられることから、
00:11:46	海中噴火の津波により評価することとしてございます。
00:11:50	下には、既往の知見の検討内容に関して、記載を追加してございます。
00:11:55	まず、前の Tall2006 では、7300 年前の、
00:12:00	甲斐アカホヤ噴火を対象としてカルデラ陥没の陥没速度と津波高との関係を数値計算により検討しております。
00:12:09	その結果、無次元陥没速度が 0.01、
00:12:14	こちら陥没の継続時間が数十分のときに、津波発生効率が最も高くなることを確認したとされています。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:12:22	また、薩摩半島で確認される地質地質学的痕跡と調和するカルデラ陥没の無次元陥没速度は 0.03 以下。
00:12:33	こちらは陥没の継続時間が 1 から 2 時間以上であるとされております。
00:12:39	また前の安藤今村 2011 では、1883 年のクラカタウ火山の噴火を対象として、カルデラ陥没等による津波の数値計算を実施し、
00:12:50	観測記録の再現を試みています。
00:12:53	その結果、カルデラ陥没の津波計算結果は、第一波が水位下降から始まり、
00:12:59	水位上昇から始まる、観測聞け、観測記録と異なる結果となっております。また前の Tall2006 における最も津波発生効率の高いカルデラ陥没の継続時間を適用した場合でも、
00:13:12	噴火現象による津波と、その大きさは同程度となったとされております。
00:13:18	続いて、119 ページと 121 ページ。
00:13:23	は、
00:13:24	こちらはそれぞれ陸上の山体崩壊と、葛西李の会計の突入の津波高の算定結果ですが、下から 2 行目に突入地点の推移を追加してございます。
00:13:37	本編の資料は、このほか、コメント回答資料の修正に伴う修正をしてございます。
00:13:44	最後に補足説明資料の 81 ページをお願いします。
00:13:50	補足説明資料の 81 ページです。
00:14:03	はい。
00:14:04	こちらは海底地すべり地形が示されている既往知見の一つとして示しています。馬場ほか 2010 ですが、箱書きの右下に、馬場ほか 2010 は、2009 年駿河湾地震時に、
00:14:17	発生した海底地すべりに関して、海底地形調査を実施しているという旨を追記してございます。
00:14:25	前回ヒアリングからの変更箇所に関するご説明は以上です。
00:14:34	はい、説明ありがとうございます。そうしたらばですね、またちょっと地すべりと火山という形で、
00:14:43	区切って確認していきましょかね。
00:14:50	当間前回ちょっとコメント回答部分中心だったんでちょっと全体の流れというところは、ちょっと時間が少なかったんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:15:02	これ、10 ページと 11 ページそれぞれある程度 10 ページが文章で 11 ページが端的なフローでってことで、説明の流れとしてはあれですから 10 ページで、
00:15:13	それぞれ、この調査はこういうデータをもとに決めた、これはこういう考え方で、
00:15:19	計算して決めたってのは 10 ページで説明して、
00:15:22	11 ページは割とその数字、その幾つの地すべりだとか、数字が最後どうなったみたいなそういうのを説明していくっていう、
00:15:30	こういうイメージでいいですかね。
00:15:34	はい。中部電力の盛です。おっしゃる通りで 10 ページの方でどういう検討をやっているのかということとその結果どういうものが選定されているのかというのは、できるだけ文字ベースでしっかり返っている。
00:15:45	で、11 ページは、どちらかというところと検討過程でどういう地点とか、どういうものを検討して行って、どういう流れで評価がされているのかっていうのを、
00:15:55	検討過程が見えるようにさせていただいたというようなページを作っております。
00:16:02	終わります。
00:16:03	基本 19 ページで説明してこういう検討しました。ぜひもう少しちょっとわかりやすく、
00:16:09	フローで示すと 11 ページ以降になります。
00:16:12	はい。
00:16:12	そうすると、基本は何で 10 ページ。文字ベースで書いてあるのは 10 ページのものが正で、
00:16:19	11 ページちょっとここはバランスの問題だと思うんですけど、
00:16:24	51 ページだけを見たときに、一番上ですかね、海底地すべりに関する調査、
00:16:32	これは前のページを見ると、文献調査と地形判読調査から、
00:16:39	選んだということに、
00:16:43	なるんですねいや、何て言うかというとその下のもの津波の指向性を考慮し、
00:16:48	した領域の区分、ハイハイ施工性を考慮して四つに区分して、次は、体積と距離で、絞り込んだっていうのが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:16:58	割と端的に考え方書いてあるんで、一番上もこれ多分文献調査と地形判読調査から、
00:17:07	海底地すべり地形を中、
00:17:09	救出なんですかね、端的に
00:17:15	はい。中部電力の盛です。おっしゃる通りです。少しここを見ただけでも、何がやってるかというのはちょっとわかるようにしたいと思います。
00:17:23	2枚はセットで見えていただくという趣旨でちょっと作ったんですけども、こちらだけでも、少し何やってるのかということを追記させていただきたいと。
00:17:35	はい。
00:17:36	今回のコメント回答対象という意味だと、割と、
00:17:41	うん。うん。
00:17:43	20 ページでも一番下の行ちっちゃい文字のところになるんですね。
00:17:47	雄一ん 2125、2629。
00:17:56	ふうん。
00:18:03	ほかなあ。
00:18:06	ちょっと特にその 21 から 25 と 26 から 29 だけは、同時発生の検討して他はやっていないっていうところが、何か端的に違いがわかるような言い方が、
00:18:17	50 ページとかですね。
00:18:20	この辺書けないのかなと思ったんですけど。
00:18:23	何か 21 から 25 はやりました 26 から 29 もやりました。
00:18:27	だけど他はやっていないわけなんで、その辺りが、
00:18:33	一言でわかるような言い方が、
00:18:37	ないですかね。
00:18:40	はい。中部電力の村瀬文章だけで書いて 8 ページの方では、
00:18:50	と海底地すべり津波評価の 2 ポツ目の末端のところですね。そうですね。はい。ちょっとこういうところはどうしてもフローになってくると keV ってしまってるところはある、あったんですけどちょっとそういうところを入れさせていただくということが、
00:19:04	対応としてはできるかなと思い
00:19:10	はい。
00:19:10	ちょっとこの辺、うん。ちょっと文面と、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:19:14	元来のバランスなんですけど、中部電力天野でございます。ここ以外に1ヶ所の地すべりにそういう上下関係とかがあるような、
00:19:25	ところがないというのがありますので、何でそれは多分1個1個のDISベリーのその位置関係だとか、そういうのを詳細に見ていくと、
00:19:36	おのずとそうなるんでしょうけど、この中、10ページの右側の図だけばっと見て、
00:19:43	はい、おっしゃる通りなんで、多分そこでは読めないんで今盛が申し上げたように少し、ここ21から25と26から29っていうところが、
00:19:54	互いに平面的に重なってる。
00:19:58	場所なんでここは特別にやってますっていうのがわかるような表現を追記させていただきます。
00:20:06	はい。なんでね、逆に言うと50ページとかのなんか地形判読の結果からは、侵食過程を経るなど時間経過おいで順番に発生したと考えられるかみたいな。
00:20:16	話は、いやもちろんその、こういうような考えられるんだけど、やりましたということなんですけど、それかというところ、実際のそのページの方に、
00:20:25	書けば良い話かなと思っているので、
00:20:30	もう少しポジティブに、こういう考え方からこういう検討しましたってポジティブな方を、
00:20:36	書いた方が端的にわかりやすいかなというその家の話で、
00:20:40	ハワイの方はね、もうこれはかなり遠いんでもともと影響はなかろうと思いつつっていうのはこれは全サイト、大変サイト、
00:20:47	共通でやられてる話なんで、はい。
00:20:50	次がですね、11ページはより最後結果だけをフローで、
00:20:56	下いて、
00:20:59	いるので
00:21:02	これはね今後のためにわかりやすくしといた方がいいと思うのはこれ最後、津波の発生要因の組み合わせっていうのがこの全体にかかって、
00:21:13	出るんですけど、
00:21:15	最後、組み合わせとIS26単品で選定して、これで組み合わせるっていう、多分考えない。
00:21:25	海域活断層は多分二つ残るのかな、御前崎海脚と。
00:21:32	三つか二つ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:21:34	なんで、もしそれであれば、この何か伊勢 26。
00:21:39	組み合わせに残すんです。でも、わかるように、最後なんていうかですかねこの矢印と…津波組み合わせみたいなふうに、
00:21:49	わかるようにしてあげたほうが、具体的に言うそうですね、多分 S26 地点の地すべりって細かく塗ってあるじゃないですか。
00:21:55	ここのところから、ちょっと矢印と、
00:21:59	文字がかぶるんで、何か、
00:22:01	どう書くかは工夫していただければと思いますけど。
00:22:07	次像図の前面から背景に持ってった方がいいかな。SD6 のところから多分、矢印を持っていて、
00:22:15	この太い枠の外に矢印によって…津波要因の組み合わせでこの津波の組み合わせをもともと右に持ってってあげて、要するに、これを組みやすい。
00:22:24	するんですって、はっきりわかるように書いた方が、わかりやすいかとは思うんですけどね。
00:22:29	ちょっといい。
00:22:30	言ってる意味わかります。
00:22:33	はい。中部電力の守屋さん 11 ページの方で、組み合わせとしてどういうものやるつもりなのかっていうのをちょっとわかるようにというご趣旨で理解いたしました。衛藤。
00:22:45	前回の方針の時の審査会合でもコメントいただいて、どこが線形でどう重なるのかとか、
00:22:52	というような分析なりを、今後組み合わせのところでは、ご説明させていただきますので、そこも踏まえて 26 を組み合わせるということがわかるように、例えばこの下の組み合わせのところで、まだ 2 を組み合わせるつもりかというのを少し書かさせていただくと。
00:23:08	というのが、現時点ではいいのかなというふうに考えています。わかりました。ここの段階では、津波、これらを今後津波の組み合わせの要因のところ、
00:23:19	検討に入れますと言って、いわゆる八景なり何なりから、
00:23:26	もうこの S、S26。
00:23:29	で、組み合わせの時間差計算をするんだというのはそういう組み合わせのところで説明するので、ここはフラットに今書いてるところ。
00:23:36	それならそれで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:23:37	一つお考えだと思いますので、はい。
00:23:48	でですね同じように見ると火山の方も一応フローという形で、
00:23:57	相手はもらってるの一応これも、
00:24:02	13 ページで、どういう考え方でどういう検討をしたのかっていうのを説明を聞いた上での、
00:24:08	14 の風浪なんで、
00:24:12	そうですね。
00:24:15	TiO。
00:24:21	そうですね、14 ページを見ると、そうか。一番ぱっと見て気になるのは何か、調査対象ですかね上から 2 番目のこのところが、調査対象が、
00:24:32	全火山、火山等など一応これで、
00:24:37	山体法が全部が対象です火砕流が火山等など 13、
00:24:42	です。
00:24:43	海域火山が 31 です。
00:24:47	これはこれで前のページを見ながら見ると迷いはしないのかな。
00:24:51	で、
00:24:55	規模も書いてあり、
00:24:58	評価をして 1 ハーン
00:25:02	次の火山現象の津波評価で倉島が一番大きいんでこれに対しシミュレーションになりました。
00:25:10	一応それが結論で、一方で、この大物出しが入るか 1 噴火カルデラは情報不足の海底火山が多いのでこれを仮想的な規模でやって、
00:25:20	評価しましたと。
00:25:22	周りとしてはこうですよ。はい。
00:25:30	とするとですねちょっと本来の、
00:25:34	コメント回答の、
00:25:36	部分になるんですけど、
00:25:38	結局これは、
00:25:42	どうしたんですかねは、
00:25:44	と Watts の。
00:25:46	椎木でやるとこうなったという話ではなくって一応その、
00:25:52	同時に滑らせた時とか結局、同時に座らせると、初期水位に効くパラメーターの

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:26:00	これはこういう影響が出ますこれはこういう影響が出ますって差し引きで特別 Watts の式を使ったからではないっていう説明をするになるんですかね 32 ページとかのかな。
00:26:18	はい。中部電力の盛です。そうですね。
00:26:22	32%。
00:26:25	24 ページにちょっと今回、検討概要という形で、
00:26:32	全体の概要をつけさせていただきました。で、今鈴木さんおっしゃられた衛藤は通でやっているということは、同時発生
00:26:40	上から二つ目の箱の、同時発生による影響確認。
00:26:44	の部分で、単独の評価の方で影響の大きい Watts を用いて検討してますということは記載してます。で、同時発生の影響分析の結果ということで、今ご指摘いただいた衛藤さん 12 ページ、
00:26:57	のところで、今回、前回のヒアリングを踏まえて、少し分析結果として、
00:27:04	説明性が高いようには整理をし直して参りました。で、
00:27:09	結論としては先ほど永松から説明したように、あまりすべり台のスーパーが大きくなっていないということと、あとは、やはり小さくなってる原因としては 1 食 1 の推進が
00:27:19	そちら側に効いているということから、初期水位が最大値が小さくなっているということで、敷地前面の水門が小さくなっていると、効果が出ているというふうに分析をしています。で、
00:27:31	この
00:27:32	影響自体は Watts だからとか、二相流だからということではなくて、束 1 が小さいと、点震源ですので、上が
00:27:41	海面に出てくる影響っていうのは、少し鈍って最大値として小さくなるというようなことは、手法にかかわらず、いえることなのかなというふうに考えておりますので、ここの分析については、
00:27:54	は、バツだからとか、手法によらず、いえることと、
00:28:01	これセットそうすると 24 ページの流れだと。
00:28:06	そこは単独で大きくあった Watts の手法を用いて、
00:28:13	A さん、島氏、
00:28:15	ただ、これだから影響分析ではないですね、次も。
00:28:19	電波状況は到来時刻に大きな違いがなくて、最大上昇採泥下降とも、
00:28:25	水力大きかったこれも結果ですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:28:28	同時発生の分析のところと言うと、
00:28:37	これはだから 1S269。
00:28:40	についてのみ書いてもうちょっと細かい話は後で説明しますと、
00:28:46	そういう話して、最終的にここでは寸法の話と、
00:28:53	推進の、
00:28:56	話を取り上げ、
00:28:59	あと、
00:29:00	うん。
00:29:02	ふうん。
00:29:05	家田。
00:29:09	4 で 25 からそれぞれの検討はしていったらいろんなその長さが厚さ幅だの といろいろ傾斜勾配とか、
00:29:19	いろいろあるんだけど、重要なのは体積と水深ですと。
00:29:25	ということですかね。一応それで説明をしたいってことですかね。
00:29:39	なんで 32 ページたどり着く前にいろいろと退席なり寸法なり勾配なり といろいろ出てるじゃない。
00:29:47	出てはいるんだけど、最終的には 32 ページと 24 ページで触れてるもの とか 32 ページで書いてある地すべり体の寸法等で伊勢部隊の書記、
00:30:00	伊井市の推進ですかね。
00:30:03	これがどっち側に振れるか。
00:30:11	例えばですよ 32 ページと、
00:30:16	それぞれあって波源モデルのパラメータの変化率、
00:30:21	これが S21 から 2 号だと。
00:30:25	哀惜の寸法これが軒並み大きくなります。
00:30:32	初期位置の水深も浅くなります。
00:30:36	勾配はあんまり変わりませんと。
00:30:39	で、前の二つが、
00:30:42	変わっ
00:30:43	たので、
00:30:45	これ上記による職制上の最大値の変化率って言うてる小中 2.7 倍とか 1.8 倍とか 1.5 倍とかこれは、Watts を返した後になるんですけど。
00:30:57	はい。中部電力の盛です。ご理解の通りです。上側のパラメータの変化 率というのが、寸法なり、初期水深なりがどう変わるのかというような 倍率で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:31:08	Watts の式を返すと、初期水位が出てきますねその変化率を、松岡したもので、単独発生に対して同時発生がどのくらい大きくなるのか、もしくは小さくなるのかと。
00:31:19	いうことを書いております。
00:31:23	はい。
00:31:24	なんで、Watts を返した後の数字のところハイライトはかかっているんですけど、
00:31:29	この寸法は、
00:31:31	大きくなれば大きくなるほどそれは初期水位大きくでかくなりますと、
00:31:36	推進は、小さくなった方が、これは初期水位を大きくする側に影響が出ますと。
00:31:43	何で S2 と 2 号は、
00:31:45	ビリぱっと使おうが使う前がこう、バツ使ったらニーズ、合計 2.7 倍なんですけど、
00:31:52	圧を使おうが使うまいが、SWEET したらでかくなる職員が大きくなる場合にバイアスが働いて、結果 2.7 倍になりました。
00:32:01	S2629 はと見てみると体積がほとんど変わりません。推進側は、逆に 1.14 倍なんで職制小さくすしてしまうような方に売差が働いて、
00:32:13	結果どうなったかという Wats お返しすると 0.9 倍になりましたと、そういうことですかね。
00:32:31	は、
00:32:33	ということですかね。
00:32:36	ちなみに何かこの辺って他に、
00:32:40	本来効いてくる。
00:32:41	パラメータってある。
00:32:43	その他に教えてもらいたいただけ。
00:32:45	ただ、倍率として、パラメータの変化率がほとんど変わらなかったから、今回は効いてこなかったんだけど、
00:32:52	影響し得るパラメータって基本はこの寸法とか水深が一番効くん。
00:33:04	はい。中部電力の盛です。今回さんちょっと細かいんで 33 ページで
00:33:10	同時発生と、単独 3334 ですね 34 ですかね。20、
00:33:18	26 から 29 地点の単独発生と同時発生等で、どういうふうパラメータが変化するかと、変化したのかということをも 1 個ずつ変えているものになります。で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:33:28	変わり得る項目として今青色で塗ってあるところが変わり得るところで、他のところは
00:33:37	その変わった数字に伴って顔色なところになりますので、ここがどのくらい変わるのかということだと思います。今見ていただいている体積って言うところが長澤津田幅ということなので、ここが最も効くだろうと。
00:33:50	いうところと、あとは今回、初期位置の水深の影響も多少あっただろうということを確認しています。で、
00:33:57	斜面勾配、大きくしてもあんまり同じ斜面なので変わってないのでちょっと今回変わってはいないんですけどもちょっとこの感度がどうかというところは、あります。
00:34:07	が、多少変わってもほとんど数字変わってないので、あまり感度が今のちょっと今見えてないのかなというふうには考えて
00:34:16	わかりますんで、急行 33 ページで青く塗ったものが、
00:34:21	あの辺、今回、下は数字としてまずパラメータの数字として変わって、
00:34:26	それを三つ。
00:34:28	区分すると、この 32 ページにあるような寸法と、水深と勾配になって、
00:34:34	先方と水深はそれなりに変化があるんだけど、高はそもそもほとんど変わってないので、ここは今回の結果には全然、
00:34:43	ほとんど影響しなかったと。はい。
00:34:45	板井の生の例はわかりますし、
00:34:49	うーん。
00:34:52	はい。
00:34:53	出た、あとですね、
00:34:56	すいませんもしこの辺の部分でまた確認したい方あると思うんですけど、
00:35:02	35 ページで、
00:35:04	何か推進の欄枠を走ったんですがちょっとこの趣旨はどういうことですかね。
00:35:15	はい。中部電力の盛です。こちらは選定結果の妥当性確認として
00:35:22	枠を出させていただいています。なので選定の方法を変えるということではないということがまずです。江藤先ほどの分析を見ても、堆積の影響

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	というのももちろんあるということと、点震源なので距離の影響も当然あるだろうと。
00:35:37	ということなので、そこで選定の方法を変えるということは考えていないんですけども今回の推進の影響もそれなりに出てきているということが見えた。
00:35:47	ということもあって、
00:35:49	それぞれの選定結果について、初期位置の水深というのを見てみたときに、すごく浅いものというのが取りこぼしがないかと。
00:35:57	いう観点で、表の中に追加をさせていただきました。
00:36:01	で、その結果として、S26 地点が比較的水深が浅いものとして、検討対象として選ばれてきていると。
00:36:11	ということと、それよりもさらに浅いものっていうと、あまり大きくはないんですけどもすでに検討対象として選んでいるものしかないということで、取りこぼしがないかという観点で、
00:36:23	今回妥当性確認という形で選定結果の表に、さらに追加したときにどうなるのかということ
00:36:32	追加、検討として追加させていただいたというところで
00:36:35	その次のページにも
00:36:38	今回追加ということで一番下側のところで、
00:36:42	今回のコメント回答として、影響県下の分析を踏まえて、選定結果の妥当性確認ということで、このような妥当性の確認を行ったということ
00:37:03	なるほど。
00:37:05	じゃ、これ最初の S3、1 から 30。
00:37:09	D でそれを 4A に分けてそれぞれから選びました。その時のプロセスとしては、あくまで堆積規模と、
00:37:19	敷地からの距離、
00:37:21	で選んで流しましたと。
00:37:24	で、
00:37:26	S26 単独で一番大きいですと、同時発生が考えられるもので同時発生を検討してみたところ、
00:37:33	もともとのその寸法体積みたいなものは当然影響があったというのは、それは当たり前のことで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:37:39	推進についてもう、結果として S26、チャンピオンということです。上回ったもの、チャンピオンだったもの、S21 から 2 号の方で見ると水深が浅くなったことで、
00:37:51	従来のもより大分大きくなった
00:37:54	んでそれを踏まえてここでこの段階で確認しました。
00:37:58	これ、結局最後の S26。
00:38:02	が 1、ほぼほぼ水深として浅いところ拾っていて、
00:38:07	うん。
00:38:08	それよりも浅い 1、
00:38:10	水深が浅いものはあるんだけどそれはもう規模とか、
00:38:13	観点で全然小さいですよと。
00:38:16	ただこれもともと 4 エリアに分けてるんでその中っていうの何か考察したりしてるんですが、ここのエリアは、この S と S2S18 を選んでいけば確かによかったとかっていう、
00:38:28	遠州灘
00:38:30	の
00:38:31	2 番目の方ですかねこれは 4 号中 2037 これを選んだ。
00:38:35	ということでこのエリアの中での検討としてはきちんと拾えているとか、そういう検討したわけではないんですねあくまで、
00:38:43	S26 に対してどうかっていう、そういうあれですか。
00:38:51	はい。中部電力の盛です。おっしゃる通りです。まずは、
00:38:57	辨野予測式もその地震の津波もそうなんですけど規模等、距離であるというのは、松波。
00:39:02	の影響。
00:39:04	検討対象として選ぶものとして自然なのかなということで、
00:39:09	それぞれ 4 駅の中から選んでいます。で、結果として今、S26 の影響が 6 点、3 メートルで、他のものは、
00:39:26	とか、
00:39:30	あ、そうですね、えっと、今回作ったような人中 11 ページの、
00:39:40	ところのフローを見ていただいても三名と、二、三メートルということで、影響がかなり小さいということを確認しております。これ潮位込みなので実際には 2 メートルぐらいの変動になると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:39:53	いうことを踏まえると、他の地すべり地点の影響ってのはあんまり大きくないのかなという中で、水深の影響も、今回、確認したというようなたてつけで、先ほどの影響確認については、整理をさせていただいて、
00:40:07	おります。
00:40:10	うーん。
00:40:12	いや、
00:40:14	中部電力ものでございます。今盛が説明した通りでもともと、
00:40:19	やっぱり、
00:40:21	点震源、地すべりの点震源なんで、規模が大きい地すべりってのがよりたくさん水位変動させるであろうというもくろみのもとに、
00:40:32	評価をしていたただ、位置関係だとか施工性の影響もあるんでエリアをし、分けて、滑る向き等も考えながら、
00:40:42	やりましたよというのが、11 ページに書いてある通りでそれぞれその中で、より大きいものであったり近いものというのを選定した上で、
00:40:53	実際そのシミュレーションしましたと。その結果するとやっぱり S26 が大きかったと。で、今回それと同時発生 of 20、S26 から 29 というものを、との影響を確認した結果として、
00:41:09	推進というのも一つの、その評価ファクターとして影響が無視はできないんじゃないかという意味で PDCA を回すという観点で、
00:41:20	もう 1 回チェックさせていただいたところを結局もともと選んだのが、先ほどの 35 ページで、ピンク、
00:41:31	ピンクじゃない黄色くハッチングしてんすが要はもともと選んでるものっていうのは、水深も相応に浅いやつが、実は選ばれていて、
00:41:42	森が言ったように取りこぼしはなかったというチェックができましたということをお伝えしたいというような資料になっております。
00:41:52	それはもちろんわかっていてですね。
00:41:55	ですねどういう言い方をした方がいいんだろうな駿河湾のところはもともと三つ選んで三つともなので、あまりこれ別に、
00:42:05	いいんですけど一応 11 ページまでの流れを見るとですね、一応この
00:42:10	英字せりの津波評価の段階では、一応四つのエリアに分けてこのエリアはこれが一番大きいですこのエリアはこれが一番大きいんですっていう評価をして、
00:42:20	ここで止めてるわけです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:42:22	組み合わせのときに、久米線入口で、やっぱ S26 ですよねと言って S26 選ぶので、一応この S2S17S3 っていうものが、
00:42:33	それぞれのエリアのチャンピオンなんでその何か、
00:42:37	セントラルリーグパリーグって言った方がいいのか。
00:42:40	何かアメリカンリーグ日西地区とか東地区って言った方がいいかわかんないんですけど、そういうところでの一応こう、
00:42:46	勝ち上がってきてるわけじゃないですか。
00:42:48	それをですね。
00:42:50	うん。
00:42:52	先手正しく選んでいるかという点でちょっと 35 ページを見てみるとですね、どうなるんですかね、駿河湾はもともと三つ評価してるんでいいですと。
00:43:04	演習等は先ほどあったようにそもそも規模と距離と、
00:43:10	あとは、推進という意味で、S26 選んでるんで、これでいいでしょうという話ですね。
00:43:20	次の遠州灘大きいのを、トラフ側斜面、
00:43:25	これは、
00:43:27	一応これも見ると、
00:43:30	水深が比較的浅いもの。
00:43:33	S4 とがおって規模が小さいんで最後、
00:43:36	チャンピオンは S17 になってますけど、一応推進の観点で浅めのものも一応拾ってはいると。
00:43:43	で、一番上の遠州灘沖の会盆内を見てみると、これも S2 という形で比較的浅くて距離が近いものを拾っていて、
00:43:53	今日 S6 がわずかに推進す少しだけは、
00:43:57	浅いんですけど、結局距離だったり、体積が、
00:44:01	の関係があるんで、これも一応演習等を機械問題の中でも、
00:44:06	S2S18 を選んだ、選んで評価をして、S2 がチャンピオンになってたっていうのは、
00:44:12	これは妥当だっていうことなんで、
00:44:15	はい、中部電力浜野でございます本体資料 56、見ていただくと、
00:44:22	今ここで黄色く発注した、
00:44:25	全選手、方複数手法で、すべて解析してあります数値シミュレーションしてあるということで、先ほどの 35 ページで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:44:39	距離と解析と推進というファクターを並べてみた結果として、今より影響が大きそうであろうものっていうのをすべて、
00:44:50	複数手法でやった結果として見ていただいても、やはりそれぞれの領域で、
00:44:57	選ばれてるものっていうのが、
00:44:59	遠州灘沖でも3メートルぐらいだし、トラフが斜面でも3メートルぐらい一方で、やっぱりS26. その倍ぐらいあると。それが、が2.5ということで規模感としては十分、もう小さいもの、
00:45:14	でありますし、先ほどの距離等規模さありすべり台の規模の関係見ていただいた大きい方なのか近い方なのかと。
00:45:26	いうところを両方見た結果としての、
00:45:31	解析結果出てますので、妥当な評価はできているのではないかなと思っております。
00:45:40	すいません中部電力の伊勢今、志賀他の天野が申し上げた通り、これぐらいの場所、場所というか26地点とそのほかのところでの
00:45:52	津波高の差があるということ踏まえた上で、先ほど鈴木さんがおっしゃられたような、江藤。
00:45:58	35ページの中で、極端にそれぞれの領域の中で、水深が浅いようなもの。
00:46:05	取りこぼしがないかっていう観点で、例えばエンシュウの奈良沖野甲斐門内で、今選んでるものより極端に水深が浅いものとか、
00:46:14	トラフが斜面のところ極端に浅いものがないかという観点で取りこぼしがないというようなことは記載できるのかなというふうに今、議論を聞いていて思いました。はい。ちょっと、なのでそういう観点も追加することは可能かなというふうに考えており、
00:46:31	あ、わかりました一応そういう、それぞれのSに力が入ってない残りのところについても、そういう取りこぼしがないってのは確認されてるわけ。
00:46:41	はい。多分ただとはいえ、もともと書いてるS26がどうかというところを、チョコの妥当性確認の根幹にしてるんであればちょっとそこは書き方かもしれないですけど、ナナオとかなのかもしれないです。
00:46:54	は一応そういう観点で見たというのはわかります。
00:47:01	はい。どうですか、ちょっと一旦じゃ地すべりのところで切りましようかね。本当かすいません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:47:09	全体の概要の流れでも結構ですし、同時発生のところでも結構ですけど、ちょっと気になっている点が
00:47:44	特集展、規制庁の末数です。
00:47:49	領域を分けられたと。
00:47:53	どこでもいいんですけども、
00:47:58	津波の指向性を協力、考慮した地域ごとに、四つに区分してその中で代表選手を選ばれたって言うんですけども、
00:48:09	それだけで、あとは図面で矢印が書いてある前で判断してくれということかもしれませんけれども、
00:48:18	これこれこういう理由で、
00:48:21	両領域をノース、特徴をまとめたっていう。
00:48:26	そういうご説明を入れていただく。
00:48:29	たほうがわかりやすいかなと。
00:48:32	特に、
00:48:35	コメント回答の方ではもう 35 ページに行かないと矢印が出てこないの で一番最初の先ほどの 11 ページですかね。
00:48:43	10 ページか。
00:48:44	10、
00:48:46	10 ページだと。
00:48:55	何を根拠に領域を分けたのかってというのが、
00:48:59	読み取れないので、
00:49:02	領域を分けたってということについて説明をもう少し加えていただければ と思います。
00:49:15	はい。中部電力の森です。
00:49:18	領域については基本的にこのエリアに分けたという思想、ちょっと書き 込めてないということのご指摘は、趣旨を理解いたしました。で、
00:49:29	10 ページ。
00:49:31	35 ページ矢印が入って 35 ページの方で、
00:49:38	6 時間、
00:49:39	すみません、本体資料の方ですね、本体資料のところの、30 ページ。
00:49:45	2、
00:49:49	松瀬本体にも、の 31 ページには矢印が書いてあるんですけどもこれに ついて、施工性を考慮し分けましたとしか書いてないんですけどもあとは 矢印見て、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:49:59	はい、読み手が判断しろとしか思えないんですよ。
00:50:03	御社がどういう根拠で、どういう、
00:50:07	取りまとめをして区分をしたと、こういう領域はこっちを向いてるからひとまとめにしましたこっちの領域はこっちを向いてるから、そういう説明が一つもないんですよ。
00:50:19	はい。中部電力毛利です。今ご指摘いただいている趣旨は理解しております。で、この今見ていただいている 30 ページの方にも、ちょっと思想があまり書けてないというところについて認識いたしました。
00:50:31	で、基本的な位置と地すべり方向を踏まえてということをご期待はしていますけれども、
00:50:38	下の図の凡例にも記載してあります通り基本的には開本大なのか、大陸の芦田の斜面なのか、外縁隆起体のトラフが斜面なのか、もしくは駿河湾内なのかと。
00:50:50	というような位置において、市で大きく地すべりの方法も決まってくるので、そういう思想で分けているというところがございます。で、その辺り記載が足りないということをご指摘、ご示唆いただいたと理解いたしましたので、
00:51:04	追記をさせていただきたいと思います。
00:51:07	適正な修正をお願いします以上です。
00:51:11	もう 1 鈴木ですけど、今のところで言う、
00:51:16	当間確かに 1、
00:51:17	都方向というのだとすると、
00:51:21	結局今回のその会合のときに、一応コメント回答なんてのコメント回答資料が説明資料本体で、
00:51:29	ちょっとどういうふうにか、
00:51:31	資料の番号付けられるつもりなんかによるんですけど多分本編とか補足資料って多分参考 1 参考になるかもしれないんですけど、ちょっとそこら辺どうするかですけどね。
00:51:41	そうすると、ある程度概要版ってこのコメント回答について概要版で話が、全体の数字が完結しないといけないとするとですよ。
00:51:50	10 ページのところって、これ、
00:51:52	あえてここは矢印方向が入っていかなくて本編の方に行くと、
00:51:58	多分結構割と早い段階で、
00:52:01	方向と違って出てくるんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:52:04	これわあ、別に。
00:52:07	なんか、そんなに方向まで入ると図が複雑化するわけでもない。
00:52:13	うん。ですよね。これ多分、1 頭方向でやりましたっていうのは本コアのコメント回答の 10 ページにも、
00:52:20	書いてあって、単純にこの増、
00:52:23	一なり方向なりっていう 30、本編の 30 ページ 31 ページとか、
00:52:28	この辺の図に、
00:52:30	かな、違うか、31 ページの図の方がいいかな、検討対象とした海底地すべりだから、
00:52:36	これに置き換えてしまう。
00:52:39	最低限しまえば、
00:52:41	一応この検討の概要といわれるところに書いてある位置等、方向を踏まえた、
00:52:47	なるほど施工性を考慮し 1 方向を踏まえた、
00:52:50	っていうのは、
00:52:52	最低限見える形になると思うんですけどね。
00:52:56	中部電力の盛さんありがとうございます。すみません本編 30 ページを今見ていただいたのをちょっとこちらにも書いていないということを、私も認識したのでちょっとこちらで呼び出させていただきました。で、
00:53:08	基本的に今申し上げた通り矢印が大体同じ方向を向いているということなんですけども、思想としては、その 1 と方向を踏まえて、領域に区切っているところがポイントだというふうに思ってます。南海トラフの構造、
00:53:23	として、大陸棚斜面があって開本があってその外側にトラフが斜面があるというような領域で区切ってますので、そこがちょっと思想としてわかるように、矢印というよりその領域ごとに選んでいるんだということがわかるというところを、
00:53:38	10 ページの方にも記載させていただくのが、いいのかなというふうに考えています。
00:53:47	はい、わかりました。お願いします。
00:54:02	さて、
00:54:03	大丈夫か。
00:54:05	いや、じゃあ、
00:54:08	そうするとですね次がすみませんじゃ一旦火山の方に行きましょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:54:15	どうぞ。
00:54:19	長の山下です。ちょっと確認させていただきたいんですけども、あの地すべり体の時の、どこがいいかな。
00:54:27	そのパラメータの設定の仕方、先ほど初期推進のところ、ちょっと聞いてくるってところだったんですけど、
00:54:35	それっていうのはどう、どういうふうに定義されてるのかなっていうのが気になったんですが、教えて、例えば本編資料の 33 ページとかですと、
00:54:45	まず田井地すべり体の体積を、DM の方から読み込んで、
00:54:51	それから概略体積を見積もってると思うんですけど、
00:54:55	そこからのその厚さとか長さとか幅っていうのをどのように定義されてるのかなっていうのが気になりました。
00:55:05	はい。中部電力の盛です。こちら、前回も参照させていただきます補足説明資料の、
00:55:12	5 章の方に、
00:55:16	記載をさせていただいております。
00:55:18	で、
00:55:20	具体的なページ数でいうと 91 ページになります。
00:55:31	補足説明資料ですね、
00:55:38	はい。はい。
00:55:40	厚いやつです。
00:55:43	はい。はい。
00:55:45	なるほど。で、こちらの方で長さとか、
00:55:51	勾配なんかの読み取り方、あとは松澤としては最大圧をとっているということと、初期位置の水深については、その地すべり長さの中央部のところで推奨を決めているということの、取り方については記載をさせていただいております。なるほど。
00:56:04	中央、初期値推進についてはこの中央値をとる地方の場所の Tall っていうのが、
00:56:10	一般的っていうことでいいんで、
00:56:15	はい。中部電力の方です。松野章に基づいてこのように取っているというものでございます。わかりましたありがとうございます。そこはあえて何かこう、
00:56:25	何でしょう、幅を持たせるとかそういうのは、特に

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:56:29	そもそも Watts の手法自体が、
00:56:32	3、四角水が綺麗な四角っていうんですかね、そういう状況で仮定しちゃってるからもうそこから動かさないっていう、
00:56:40	適用性の問題ということでいいでしょうか。
00:56:45	はい。中部電力の盛です。そもそもになってしまうんですけども、海底地すべりの評価自体が過去の津波を再現するという事なので、
00:56:55	あまりこのパラメーターがこうなったらこうだというような評価をしていませんで、
00:57:01	基本的には複数は過去の地すべり痕跡をすべて評価に俎上に上げるということと、また複数の手法で検討するというところで、不確かさを見ているというふうに考えて、
00:57:13	はい、ありがとうございます。
00:57:15	あともう 1 点なんですけども、多分おそらくこれも過去にご説明されるとは思うんですが、ちょっと確認させてください。2 層流モデルについては、
00:57:26	この
00:57:28	何でしょう、ここ、このような四角水のような形で、初期の土砂の形状というのを仮定されているのか、それとも、
00:57:38	ゲームの方から読み取った形でそのまま綺麗に、
00:57:41	置き換えてるのかっていうのはどこ。
00:57:44	ありますでしょうか。
00:57:48	はい。中部電力の盛です。二相流については DEM から、例の方決まった形状でそのまま二相流を開始すると。
00:57:58	というようなことを検討しています。なので
00:58:02	本編資料の方で、
00:58:07	33。
00:58:09	すいませんちょっとページが行って申し訳ない。本編資料の 33 ページ以降ですね 34 ページから波源モデルの設定を記載しておりますけれども、この復元のデモを作った上でこの DEM の計上で、二相流を開始しているというような検討をさせていただきます。
00:58:24	はい、ありがとうございます。
00:58:26	そうですね。
00:58:27	そうすると、実はちょっと初期条件自体が、若干違うってところになるんですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:58:35	Watts の手法で、
00:58:36	考える場合と、
00:58:39	それが特に
00:58:42	度、
00:58:43	そんなに影響しないだろうなと思いつつちょっとその確認です。
00:58:49	はい。中部電力の 2 手法で初期の水の出し方がそもそも違いますので、 そう、そういうところで間違いが当然出てきているというふうに考えて います。
00:58:59	はい。
00:59:00	ありがとうございます。
00:59:24	あ、ごめんなさい、規制庁鈴木今のところって、
00:59:28	結局どういうことになるんですかね一応その初期水位が浅くなる形で価 値、
00:59:35	浅くなる画が深くなるか、下に、
00:59:38	バイアスがかかっているとそれすら逆転するとかそういうレベルではなく て、
00:59:44	ていう、そこは変わらないんですね例えば体積が大きくなるほとんど変 わらないってというのが、より大きくなるかそこまで大きくならないと か、レベル感は少し違いがあるのかもしれないんですけど、
00:59:57	初期水位に影響与えその子の体積だとか水深だとかの傾向すらも変わる こ、それは変わらない。
01:00:04	ていう、いうところは多い。
01:00:06	そこはおっしゃってる。
01:00:08	そこはそう見ていいんですか。
01:00:12	はい。中部電力の森です。2 手法で当然差は出ますけれども、
01:00:18	先ほど見ていただいた本編の 56 ページ。
01:00:26	ですかね。ええ。
01:00:33	なんかで、S26 はどちらも大きいですし、他の小さいものは小さいとい うのは、大まかな傾向みたいなところは、変わっていないというふうに 考えています。
01:00:45	ただ手法が違うので、当然、どちらが大きいというところには差が出て くるということもあって 2 手法でやっているということだと思っていま す。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:00:55	今の山下さんがおっしゃられた初期の波源が違うというところについては、
01:01:04	前回もちょっと新ヒアリングでもお話をいただきましたけれども、例えば、
01:01:11	同じ本編でいうと、
01:01:18	26 地点でいうと、いや 42 ページに、S26 地点の海底地すべりというのが波源モデルとして示しております、
01:01:27	二相流はこの復元地形を使った形状そのまま、初期波源として、
01:01:34	津波を計算すると、Watts については、長さとか、厚さとかのパラメータに押し込むっていうのは、作業があって、式から初期水位がそのまま出てくるというような式ですので、
01:01:45	そう意味で初期の波源の設定方法が当然手法が違うので違っているというところについてご指摘いただいたというところ。当然手法が違うので、初期水位が変わってくると。
01:01:57	いうところがなかなか
01:01:59	研究途上みたいなのもあって、統一的にこれでいけばいいというところがないということもあって、複数の手法で検討しているということが審査ガイド、
01:02:09	の思想なのかなというふうに考えています。
01:02:13	の中で鎌野でございます。
01:02:15	波源モデルというか復元モデル、一緒です。同じものを使うんですけど、二相流の場合は、3次元でできるんでそのまま使いますが、Watts ってもともとが駄目。
01:02:28	でやってるのでその数字を拾ってきてやってるってことで、復元モデルを変えたりしてるわけではないということでございます。
01:02:40	ごめんなさい。井内勇人だからさ、コメント回答の 32 ページの方で、
01:02:46	一応
01:02:48	これはあくまで Watts なんで、こういう形で、長々佐田の浅田のを出して、耐専報を出す必要がある。
01:02:55	だけなんだけれども、多分もともと、
01:02:59	本編で 2627 みたいな、こういうような形で全体の何か、体積が何倍になりますみたいな、別にどこでも出してるわけじゃないじゃない。
01:03:09	ただ、一応ここで言う S に 1 から 2 号の方が一応寸法は、
01:03:15	大きく、これこの程度大きくなる側に働きます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:03:20	おそらく二相流でやるんだとするとそのもともとのものを使って合計出すんで、それによって多少倍率は変わるのかもしれないけど、傾向としては当然変わらないわけですよ。
01:03:29	推進の方も 0.78 倍っていうのが、正しくは、2 直から二相流の方であると、こういう
01:03:37	感度というか推進の
01:03:40	変化率っていうのもそれなりに、
01:03:43	0.7 章でびたりは当然一致しないんだろけれども、当然浅くなる側に働くっていうのは、これ多分変わりようがないっていう。
01:03:52	そこはいいですよ。
01:03:54	はい。中部電力の森先ほど冒頭に申し上げた通り、その傾向自体はどちらでも同じと考えています。どちらの手法も水利実験等で適用性の確認もされてますので、同じような効果が出るような、
01:04:08	手法になってるというふうに考えていただければと思います
01:04:13	はい。
01:04:15	わかりました。そこはある程度前提としてあった上で、もともと単独で大きいやつでやってますと。はい。
01:04:23	他はよろしい。
01:04:25	使うじゃ一旦火山の方へ行きましょうかね。
01:04:44	はい。そうするとですよ火山の方も大体の
01:04:48	評価の流れでは前回確認して 13 重要みたいな話ですと、そこは
01:04:55	いいとしてですねコメント回答部分がどうかということと、
01:05:05	ちょっと前回も少し話題になって本当は仮想的な噴火規模による影響確認だろうが、6、
01:05:15	PRE でやっている、通常のものであろうが、
01:05:19	変わらないんですけどちょっともう 1 回その、
01:05:22	何ですかね、いわゆる、
01:05:25	はい。海中噴火中ポツ、カルデラ陥没。
01:05:30	一応評価のやり方としてはカルデラ陥没の方ではなくて、とか 1 噴火で評価していますと。
01:05:39	その心は、一応最初の波が
01:05:44	上昇側下降側に出るか。
01:05:46	ていう違いだけで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:05:49	そこは初期水位の規模、最終的にはサイトへの影響っていうんですかね、ある。
01:05:54	そこには影響が出ないっていうのは、これは何かある程度一般化されたものっていう説明なんですかねそれとも。
01:06:01	なんかクラタカウではこうでしたとか、そういう話なんですけど、
01:06:09	はい。中部電力の盛です。
01:06:12	そもそも知見がないというところはあってですね、カルデラ陥没をするような噴火っていう浜辺7クラスの噴火になりますので、そういう時に
01:06:22	陥没の津波が発生したのかしてないのかっていうところも、
01:06:27	クラカタウの事例でもしくは、
01:06:30	すかなり昔のですけど機械のご紹介した事例、
01:06:35	ぐらいしか検討事例としてはないというふうに知見を調査した限りでは考えています。で、
01:06:42	その上で、今回、本体資料の先ほど115ページの、火山現象の津波評価の方針という部分で、
01:06:55	前回、山下さんからもご指摘いただいた前野今村の文献も拾いながら、考え方を追記させていただいています。
01:07:04	で、
01:07:07	3ポツ目のところで先ほど読み上げましたけれども、押し引きは当然反対になっているということと、津波の大きさ自体は、カルデラ陥没が
01:07:19	どのぐらいの、継続時間というか陥没の時間がかかって落ちるかというところはなかなか知見はないんですけれども数値計算の限りからは、
01:07:28	あまり早く落ち過ぎても、周りの水が、そのカルデラの中に入ってくる時間との関係も、
01:07:33	瞬時に水が、津波の水界面の水がカルデラの中に入ってくるわけじゃないっていうことも多分あるんだと思いますけども、
01:07:40	早く落ち過ぎても、津波高としてはそんなに大きくなれないというようなことが、前のTall2006というところでは記載がされております。
01:07:50	で、唯一ある事例として、観測記録がある事例として、前野今村2011の方のクラカタウ。
01:07:58	の、津波ということで、これも実際に山がなくなっているの、負荷1分、噴火をしたということと、あとはへこんだ影響っていうのは、どちらもある可能性はあるんですけども、
01:08:12	記録としては上昇側から来ているという事実と、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:08:16	あとは、計算上、どれだけカルデラを早く陥没させても、津波の
01:08:22	津波の水位の波高としてはそんなに大きくはならないというような数値計算結果もあるというところを踏まえて、知見として、検討がなされている海中噴火の方で、
01:08:32	津波予測式の検討ですね、は、検討を実施するということが、
01:08:39	最も評価上は、適切に評価できるというふうに考えてこのようにさせていただいています。
01:08:50	うん。
01:08:51	まあ、一応、なんだこれガイドかな、ガイドで見ると、火山現象に起因する津波波源の設定ということで一応最新の科学的知見を踏まえて、
01:09:03	発生機構の分類に応じて適切なパラメータを設定しましょうということで、
01:09:10	一応それで凸な噴火に伴う局所的な地震海中噴火とか幾つか例を挙げてるんですけど、多分解説である程度、
01:09:20	ある。
01:09:21	例示ですかねって言って、駒形、北海道の駒ヶ岳とか、渡島大島菜々山でクラタカウといって、
01:09:30	蔵田家を除くものは、火山噴火火山性地震による山体崩壊という流れの、良い例ですと、
01:09:38	後者クラタカウ側火山噴火にはカルデラ陥没形成や海中爆発だこれあれか、愛知で増えてる方ですね。
01:09:48	考えられるということで、ある程度、こういうものが発生事例としてパラメーターなりを設定する時の参考にしてくださいということで書いてあって、
01:09:58	今回、海中噴火カルデラ陥没の方がこのクラタカウ
01:10:04	を例にとって、ある程度検証できてるようなもので、
01:10:08	設定しました。
01:10:10	うん。
01:10:12	そこまで出るわけですよ。はい。
01:10:19	なんであんまりこのぐらいの規模のもので実際に関連陥没させるようなんだろうとやっていこうとすると、
01:10:26	ただ、
01:10:26	結果の検証が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:10:28	パラメータ設定してこうなります成増はできるけど、過去の事例とし、 実例として合いますかと言われたときに、そこができないっていうそう いうご趣旨ですかね。
01:10:39	はい。中部電力浜野でございます。もう社っていただいた通りなんです けど、そもそも調査の段階で、九州みたいな、
01:10:49	ベンダーなんていうのは起きてないという調査結果も踏まえつつも一 応、
01:10:55	カルデラなんかも選んでいますがそれを簡易的に評価する式っていうの は、当然今最新知見を探してもなくて、海中負荷で何とか
01:11:07	潜航
01:11:09	で選んできたもので上下変わるけど一応簡易的には評価できるのではな いかという形でご説明を差し上げているというところでございます。
01:11:19	なかなか、じゃあ喜界カルデラが本当に起きたら、
01:11:23	どれぐらいの津波になるのっていうのは先行でもやってないところは、 なかなかちょっと我々でそれ、今は選び出せないっていうのが現実にあ ります。
01:11:37	ただ喜界カルデラになってしまうと多分ここで今見ている。
01:11:42	6、DRE とはまた2点追いつかないで、なっちゃうんですね。
01:11:48	かといって、後段でやっている仮想的な希望と言っているものはそも も、
01:11:54	この空想調査で、基礎データがないので、とりあえず、同じエリアとい う改造が皿のあたりで一番記録DRで、
01:12:04	一旦は評価するんだけど、とはいえ、まだそこはわかってない部分もあ るので、
01:12:10	もうちょっと大きい規模を適切に設定するかというところもしょうがな いので、とにかくエリアで拡張しましたっていう話だから、
01:12:18	そっちで多分でいんだな。
01:12:20	クラスを想定してからといって、じゃあ機械みたいな評価が必要ですか というと、それも違うでしょうと。
01:12:26	ここはあくまで6DRE でやったもののやり方をそのまま規模を拡張して いやでやりましたっていう世界なんで、
01:12:34	なるほど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:12:37	なんで、あくまで海中噴火とカルデラ陥没で一応不音が吹いた後に、陥没時沈む側というものを、海中寸暇で一般的に代表できると当然そういうつもりはないわけですね。
01:12:51	はいはい。
01:13:00	はい。中部電力守谷なかなか一般論としては難しいというふうには考えてまして、またクラカタウの事例で言えば、
01:13:09	カルデラ陥没だからあまりを、あまり大きな津波が出るというような知見がないのかなというふうには知見として整理させていただきました。
01:14:13	はい。ごめんなさいねちょっと一旦、すいません、ちょっと前回すいません少し代になったのでそういう形で聞きましたけれども、
01:14:24	ですね。
01:14:25	ここはどうですか。
01:14:28	うーん。
01:14:33	で、あと
01:14:36	B7の方は将手拭きですね。
01:14:39	もともと、
01:14:41	今、最終的なシミュレーションやって加工がまで出ているのが一応山体崩壊の御蔵島。
01:14:48	だけなんですけど、
01:14:51	あくまで6DRクラスですけどね。
01:14:54	気をカルデラ陥没。
01:14:57	ふうカルデラ陥没のロックDRの方でもいいですけど、加古が、
01:15:03	どういうふうに、相当見てあげれば、
01:15:08	感度としてですね他の上昇側で、敷地前面しか出してないじゃないですか。
01:15:12	下降側とか取水槽とか出てないんですけど、その辺りは、
01:15:18	もう、かくかくしかじかの理由によりもう簡易的に上昇側だけ出して、これは山体崩壊の御蔵島で、
01:15:25	水量所一番大きいやつで2.6火口がマイナス1.6ですよ。この結果を見た上で、他のものも、バー。
01:15:34	おおよそここから、
01:15:37	大して差がないレベルなんで、他の物加工は全然評価してませんけど、
01:15:43	これで認識に対して加工はもう、
01:15:46	いわゆる火災でいうとかですね、海中カルデラ噴火、カルデラ陥没か。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:15:51	ここの方も過去がで数字出してないじゃないですか。出してないけれども敷地に明らかに感度がないっていうのは、一応この
01:15:59	御蔵島の山体崩壊とかの、この最後下降側まで出した結果、
01:16:04	この結果も含めて、感度がないっていうふうに見ればいいんですかそれとも何かそれぞれの上昇が出した時点で、これは感度がないっていうのか。
01:16:14	数字を計算して見せてくれと言ってるわけじゃないんですけど。
01:16:18	少なくとも下降側も含めて、水位上昇下降含めて、
01:16:22	ある程度敷地の影響がプレート間に対して明らかにならないっていうふうには言ってもらわないと困るんですけど、ちょっとそこら辺どういうロジックなのかと。
01:16:33	はい。中部電力の森です。57 ページに、地震以外の容認による津波のまとめという。
01:16:42	ということで、
01:16:44	評価結果を記載しています。で、ちょっとこちら一覧でまとめてしまっていますけども、
01:16:51	火山についてはプレート間地震の津波と比べて小さいということは、これでもいえるのかなというふうには考えています。で、
01:16:59	ちょっと表記をどうするかということはこちらはございますけれども、実際にやっている火砕流の会計の突入だとか、もしくはカルデラ陥没、会長がカルデラ陥没についても、
01:17:15	し、数字としてはこれが逆転したぐらいが、下降側の評価になるというふうには考えています。で、
01:17:22	笠井の会計の凸については、こちらの箱を出す式ですので、情緒上川下側を今、
01:17:30	どちらも同じだというふうに見なせる式です。なので、これをマイナスしていただく。
01:17:36	開式としてはこれをマイナスにするということもできるというふうには考えていますし、カルデラ陥没の方についても、カルデラというか、海中噴火の下降側についても、同じく波高の最大値として出てくる数字ですので、
01:17:52	取水どうしてんではマイナス側に当然最大値としては採用するというのも書くことができるというふうには考えています。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:17:59	江藤、伴伊敷ですので、あえて敷地前面でこの数字ということでわかるようには記載させていただいておりますけれども、そのような処理はできると考えています。
01:18:13	すみませんあまり机上の数字を、
01:18:16	の数字を出してくださいと言うつもりは、
01:18:18	なかったんですけど。
01:18:24	敷地前面と敷地内の取水層との関係でいうと当然敷地でメールし水素が大きくなることはないんで、
01:18:32	ですね。
01:18:33	大半はですね、はいはい。
01:18:36	加工はもう、
01:18:38	山体崩壊で見ると、敷地前面が最後 3 メートルで、
01:18:44	下降側大体 - その半分ぐらいで今出ているので、
01:18:48	多分、山が崩れて海に流れ込みます火砕流が海に突入しますと全体で同じような、
01:18:55	衣装なので、
01:18:59	うん。
01:19:01	ところ神津島でしたっけ。
01:19:03	これでしたっけ、ここで嶋火山群の方もこれ簡易式ですけど、わかりながら詳細でやって 2. 何メートルかもし出たとして、
01:19:10	止水性は当然それよりも低いし、下降側もだからせいぜいマイナス 1. 何メートルだっていうそのぐらいのオーダーっていう、
01:19:17	いう見込みがあるでしょうと。
01:19:19	で、海中噴火カルデラは、海中噴火の方で今評価してるんで、
01:19:27	ただ、
01:19:29	大村氏の 1.36Dr 飯田から、仮に
01:19:34	カルデラ陥没みたいね。
01:19:36	ものを、
01:19:37	なり加工が出したとしても、これもこれが急にですよ、あれ敷地前面じゃないや取水塔のところって何メートルでしょうかー。
01:19:49	あれ 68 メートル、6 メートルでしたっけ。
01:19:52	はい。マイナス 6 メートルです。
01:19:54	あそこを優に超えて海底が露出するだとかそのレベル感には到底出したしないでしょうと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:20:01	瞬間的に見てもらって、
01:20:05	なるほど。はい。
01:20:07	一応この辺からある程度推測していると。
01:20:11	ということだし今この簡易評価で上昇が出してる時点で、相場感としては、当然掴んでいるというか、念頭には置いてるわけ。
01:20:39	はい。
01:20:42	出た。
01:20:43	ちょっとこれも以前にも少しは聞いたことがある。
01:20:48	のかもしれないんですけど、
01:20:51	今回、一応津波評価上の火山の扱い。
01:20:56	なり規模なりは、
01:20:58	一応こうしたものの、
01:21:01	今後、火山の説明をしていくときには、ちょっとまだ火山の方資料を作って、今後検討して作っていきたいっていう。
01:21:10	だと思うんですけど。
01:21:12	この辺で、
01:21:13	どういう少し先々のことは、方針決まってないものを、カチッ時間く、細かいところまで聞くつもりないんですけど、
01:21:22	等する。
01:21:26	つもりかという、
01:21:28	距離が遠いようなものはあんまり気にしてもしょう。多分火山事象として見たときにはあんまり気にしてもしょうがないんだと思うんですけど。
01:21:40	割と敷地に近いようなところっていうのはこれは火山事象の評価の時には、
01:21:46	これは何かつそれなりに規模を推定しにかかるのか、どうするのかっていうのあります。
01:21:52	中部電力ものでございます。本体資料 72 ページ。
01:21:57	2、
01:21:58	その位置関係は、
01:22:02	記載させていただいて、
01:22:04	でございます。
01:22:08	もともと要は降灰シミュレーションだとか
01:22:12	火山影響評価自体は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:22:16	地理的領域の 160 キロ範囲っていうのが、ガイドでもうたわれてますので、基本的にはその 160 キロ範囲内の火山の
01:22:28	噴火履歴と、階段ダイヤグラムを出しながら、ご説明をしていくと、いうことになります。一方で、ここ、右側に青く津波評価という形で書かせていただいて、若干ちょっとこれ、ガイド上グレーでどこまで見るのかと。
01:22:46	いう観点があって、当初 160 キロの地理的領域が、は火山影響評価なんで津波もそこだと、いうお話してたんですけど、
01:22:57	やはり伊豆小笠原っていうのがある、敷地の前方にあるということも踏まえて、半径 1200 キロぐらいまで見てますがさすがにここをですね火山影響評価で見るということじゃなくてそこは先行他社と同様に、
01:23:12	降灰という観点でいけば地理的領域の中をやっていくと、いうことになろうかと思っておりますので、調査、
01:23:20	の資料については、
01:23:23	前回のこの火山現象に津波のとき出しておりますので、次、火山影響評価の時にはそれしっかり最新化した上でまたご説明をしていきたいというふうに考えております。
01:23:41	あれ一応等々、
01:23:44	同じ本編の 72 ページで言うところの、これ、火山影響評価、共通部分、160 キロ圏内に限っていうと共通する部分になるであろうと。
01:23:54	地理的な計測、火山活動履歴の調査分光等の文献ですけどね。
01:24:00	ことほぼ文献になりますけど、この調査をしたっていうのはこれ 1 回聞いてるんですけど。
01:24:08	はい。対象等、その何影響をおよぼし得るからの抽出とかっていうところまではもちろんいかなんですけど。はい。
01:24:16	はい中部電力天野です。はい。ちょっとすみません、前第何回かまでは、今すぐ答えられるんですけど
01:24:22	大分昔にこのさ、3 年半か 4 年ぐらい前の、この火山現象の津波をご説明する際にまず、のベーシックな調査状況という意味で、160。
01:24:35	キロ圏内及びそれより外というところを合わせて、調査状況はご説明をさせていただいておりますただ、もう大分古いのでこれはもちろん、
01:24:46	現時点に最新化はして、改めてご提出するというふうに考えています。
01:24:52	わかりましたんで火山影響評価の方に、
01:24:56	今後移っていった時に、この一番最初の部分も、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:25:02	全体、陸域の方も含めてですけどね陸上の、今回津波と関係ないエリアの
01:25:07	大藤さんと福間藤谷微妙に関係するのか、含めて一通りはまた最新のもので説明すると。ただ、現時点で、一応前回す、このもともと説明した、
01:25:18	活動履歴第四期からの活動履歴調査と言われる、
01:25:22	ものを説明していく数年経っていて、数年なんでそうその間に何か大きく変化するような新しい知見があったかっていうと、
01:25:32	なさそうな気もしますけど、一応そこは、入口、この火山現象の津波評価の入口が、何か大きく変わるようなものはない。
01:25:43	そういう前提で、城南川でございます。おっしゃる通りで今回の資料におきましても、特に津波を励起させるような
01:25:53	海にある火山類は、データについては最新化をしているところで、一方で、藤さんだとか、仁木さんがやっておられた
01:26:05	どこだっけ八ヶ岳。
01:26:07	とかですね、
01:26:08	あの辺りはまだ間に合っていないので次、火山影響評価の中で当然最新化してくると、津波の評価にかかわらない、かかわらない部分は、
01:26:20	次、最新化しますし、津波に関わる部分は今回お出ししている補足説明資料等も、いずれも最新化をさせていただきます。
01:26:30	わかりました。つなぎ方が最新化してあるので、今後火山の方での説明に、等重複する部分は当然火山の説明の方で反映するし、火山単独で説明しなきゃいけない方のものは、
01:26:45	そのときに説明しますと。
01:26:46	ということで一応今最新の情報にアップデートした上でこの火山現象の津波評価を行われてますと。
01:26:52	はい、おっしゃる通りです。はい。
01:26:54	その上でもし今後火山の方で話をしていって、
01:26:58	何かこう取り入れなきゃいけないものがあればもしかしたら再度審議かもしれませんけどそれは、
01:27:03	常々ある話なんで、あまり今言ってもしょうがないですけどはい。
01:27:07	はい。中電加茂です。今のところなんでしょう。中澤委員が規模が過去と全然違ったっていうような最新知見がないことは、確認はそうですね。わかっているものは当然わかっているっていう。引き続き、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:27:23	最新のものを見てもデータが不足してるものは今回割り切って評価してるので、
01:27:28	はい。
01:27:32	ちょっと多少多段のものはかぶるものが、重複する項目初め説明を聞く、かなり兵庫とかぶるものがある。
01:27:42	そのときにですよねはい。
01:27:46	これじゃ一応こう大藤 160 キロ内に入ってて今回拾われて富士山とか神津島とか、
01:27:54	ですね伊豆大島大室なしとか、この辺りのものは一応今、
01:27:59	今後課題今日評価の時に
01:28:02	含めて、
01:28:03	一応入口のですね、活動履歴調査としては、
01:28:07	共通で拾ってると。
01:28:09	うん。
01:28:12	一方でも影響してくる形でこの方法を文献からだとしてしょうけど、もう個別評価影響評価のところに、
01:28:21	必要な情報っていうのは今後も、
01:28:24	プレートされてくるか、ちょっとこのあたりに、これまた大室館とかの扱いは今後聞きますけど、はい。
01:28:36	中部電力の盛さん、津波評価は
01:28:40	今回伊豆小笠原弧の 1100 キロぐらいの遠いところの風間で評価することになってますので、それらを 1、
01:28:50	知見を収集するということは知見がない中でちょっと難しいので、そこまで一律に仮想的な規模でやってみてそれでも影響がないということで、
01:29:01	評価上、津波評価上狭山工場に残らないということをお示したものです。で、火山はエリアがそこまでは今、最もガイド上求められてるところはないということなので、それぞれ知見を整理して、またご説明させていただくというところになろうかと。
01:29:17	思っています。
01:29:23	はい。
01:29:25	ですね大村市なんかも海底のものなんでそもそもこれに持って、データ不足だからといって既往最大の噴火規模がわからないからじゃあ火山影響評価上どうするのかって言っても、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:29:36	海底のものだから、
01:29:39	火砕流密粒と言われてもっていうところあるので、ちょっとそこら辺は すいません私も、ちなみに花壇の方で、
01:29:46	確認するときには、ちょっとどうい、
01:29:49	説明されるのかというところは、
01:29:52	市はしますけどはい、わかりましたじゃひとまず、共通部分の知見をア ップデートしてあるという前提で話を進めてよいということですね。はい。
01:30:02	わかりました。そうしたらですねすいません火山の方、先ほどちょっと 途中で真下さん、前回、聞いたところも、
01:30:13	確認はいりますけど他の部分も含めて火山関係で、
01:30:17	以下はいいですか。
01:30:23	よろしいですかそしたら、細かいところも含めて、
01:30:28	表現ぶりとかも含めて、
01:30:30	気になってるところあれば、
01:30:45	規制庁佐口ですけど、ちょっと記載のところでは幾つか、
01:30:50	確認というか、
01:30:52	うん。
01:30:54	場合によってはちょっとよくわからないとか修正が必要かもしれないの で、
01:30:59	ちょっと全体を通しますけどまずコメント回答も、
01:31:03	23 ページで、
01:31:05	今ご説明あったってあったんですけど、
01:31:10	下の箱書きの、
01:31:12	真ん中の四角のところの、
01:31:15	一番したの単独発生の波源モデルよりもっていう、今日ご説明あったん ですけどこの最後のところ、
01:31:24	津波高がやや小さくなったと考えられることを確認した。
01:31:29	これちょっと日本語的にどうなのかな。
01:31:32	やや小さくなることを確認したとか、
01:31:36	なんか間確認した結果の中谷っていうこれは 24 ページも同じ記載で す。ちょっと日本語的にどうかと。
01:31:47	それで、
01:31:54	あと火山。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:31:56	火山の方で、
01:31:59	今日ご説明、
01:32:02	ダーこれ補足だけの、
01:32:06	後、
01:32:13	ありますね。本編資料の、
01:32:17	115 ページ。
01:32:21	これちょっとこれもごめんなさい本当に、記載の、
01:32:24	話なので、
01:32:27	115 ページの上の四角のところで
01:32:31	最後の、
01:32:33	四角のところ、
01:32:36	で、
01:32:40	なお云々ってあって、1 行目の最最初の海中噴火とカルデラ陥没等は一体の現象であり、
01:32:47	を噴火を経て、
01:32:50	段階的に切りされる狩野堆積等であって、同程度でマグマ体積は同程度であるとされる。
01:33:00	うんと。
01:33:02	これ、この文献で言われてますねと。
01:33:04	そのあと、
01:33:06	前野安藤今村 2011 等によると、
01:33:11	で書かれているんですけど、津波の大きさは同程度であると考えられることから、
01:33:18	この考えられるっていうのは、
01:33:20	まず、
01:33:21	御社が考えたことなのか、前野今村で言われているのか、ちょっとどっちか教えてください。
01:33:31	はい。中部電力の森です。前野今村で分析されているのは、下の、
01:33:37	点線の波線のところの通りで、
01:33:41	実際にケース等した結果、二つ目のポツですね、衛藤今村、前野今野 2011 の方ですけども、
01:33:48	いろいろカルデラのその継続時間 1 分から 1 時間ぐらいまでパラスターをしてみても、海中噴火噴火現象による方の津波と、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:33:58	同じぐらいの津波でしか出てないというような結果が載せられています。で、
01:34:05	ただ
01:34:06	前野今村の再現検討の計算なので、そもそも第一波が引き波から来てるので、
01:34:13	どうやってやっても、観測事実に合わないというのが前野今村の結論です。で、我々としてはどういうふうにパラスタをしても、同じぐらいだというような検討結果はグラフで載ってますので、そこから考えられるということで私、我々として考えられるということを上箱書きでは、
01:34:31	記載させていただきました。
01:34:34	はい、規制庁サービスでごめんなさい言い方があまりよくなかったですねこれ以前から、
01:34:40	言っていることでもあって、文献で、例えば、どういうふうに言われているどういうふうに示されているそれに対して御社はどう考えているのかっていう、
01:34:49	もし記載だったら、今はどこまでが、
01:34:54	文献で言われていて、どこからが御社の考え方なのかが、ちょっとこの文章でわからないというそういう趣旨なんですけど、もう1回、前野今村では、どこまでの、
01:35:05	この文章の中でどこまでのことが言われている、もしくは、一切そういうことじゃなくって、
01:35:11	前の、今、前野安東今村等を踏まえると、御社としては、海中噴火以降のことはこうだと考えているのかというその切り分けなだけなんですけど。
01:35:31	切り分けがしっかりできてない。中部電力の赤松切り分けがしっかりできてなくて申し訳ありませんでした。この文章で言いますと津波の大きさは同程度であるというところまでが信文献が言ってること。
01:35:42	それを基づいて考えられるっていうところからが、当社っていうふうにちょっとなってますので、それがわかるように、
01:35:49	切り分けをしっかりとしたいと思います。
01:35:53	はい。規制庁サービスわかりました
01:35:55	なので、ひょっとすると他の文章も、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:35:59	私全部チェックしてないので何とも言えないんですけど、もう1回ごめんなさいここはそういう文献で記載されていることでそれを踏まえて、御社が判断とか考えていること。
01:36:11	考えられることっていうのが、一応ちゃんと切り分けて、文章になるかどうかってのはもう1回チェックお願いします。
01:36:20	中部電力永松で承知しましたもう一度、全体点検して修正したいと思います。
01:36:30	はい。多分、今のような点は前田のときだったかな、津波堆積物の時にもいくつか言ったことがあるような気がしてこの文献ではこう言ってるこの文献ではこう言ってる。
01:36:41	そんな時は逆に、文献でこう言ってるだけで、じゃあ最後中電工どうするんですかっていうところが逆にはっきりしなかったんで、
01:36:48	そこは多分行ったと思うんですけど。
01:36:50	はい。
01:36:53	そっか。ちょっと待ってください。そういう意味でこれわあ、前提としてなんですけど、今回さっきも一応地すべりはここ数年間開きましたけど、
01:37:04	その間にいわゆる新しい
01:37:08	すべてこういうところに新たに整備が指摘されたとかっていうものは、
01:37:13	そこがない。
01:37:15	そこもないっていうことでいいですかね。
01:37:17	そう。
01:37:21	はい。中部電力の盛です。
01:37:25	今回我々、フローとしてお示しさせていただいている衛藤、
01:37:33	と、10ページですかね、コメント回答で言えば10ページの方で、まず文献調査をして、
01:37:41	地形判読調査をしてというところで、
01:37:46	このフローで最新化を図っています。で、既往文献で示されている海底地すべり地形についてはすべて拾っています。で、
01:37:56	例えば、
01:37:57	最近でも仮想的に波源を置いてみると、これぐらいの津波高になりますみたいなパラサ的な検討は当然あるんですけども、ここで言ってる既往文献、海底地すべり地形が新たに発見されたとか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:38:11	こういう観点でここに海底地すべり地形があったというような痕跡があったというような、検討については
01:38:18	新たな新知見というのはないというのを確認しています。
01:38:22	はい。シミュレーション上この辺にこのぐらいのデシベル置くのは多分、今ここで言っているガイドに即してやっている地すべりの評価とは、多分全然世界が違うと思うんですけど。
01:38:33	新しく、
01:38:35	ここに過去地すべりがあった、地すべりが起きたというようなものは、
01:38:40	ない、ないとともにですね、地形判読調査の方は、
01:38:46	これはだから新たに地形版と、
01:38:48	新たに何か海底のこの辺の地形が何かアップデートされたとか、
01:38:53	そういうようなものがないってことですよね。
01:38:56	何かアップデートされたんだけど改めて見てみて
01:39:00	変わりませんでしたではなくて、はい。
01:39:06	はい。中部電力の盛です。海底地すべり地形が見れるほどのということかなりの精度が必要になりますのでそういうような調査ないという
01:39:16	はい。一方で火山の方は、所々アップデートがあって、今回陸上火山しか対象にしなかったじゃないか、海底火山、陸上火山も、
01:39:29	評価対象に加えましょうっていうのは、それは、何というか別に7件ではなくて、対象に加えるかどうかだけの話なんで、それを加えましたと、一方でその知見のアップデートという意味だと、
01:39:42	そこは、
01:39:46	どういう考え方で知見を一通りあって、どういう考え方でこの知見を採用してっていうのは、
01:39:54	ちょっとそこはつ短期化せてもらってもいいですかどこで見るこの補足説明で見た方がいいんですかね。
01:40:02	多分一覧。
01:40:04	ていう、それぞれのものっていうのは補足説明の中になるんですかこれともと。
01:40:09	さっき言った一番の入口でいうと、
01:40:12	はい中部電力永松です。おっしゃる通り補足説明資料10のほうに、個別の火山の調査の結果ということで、
01:40:20	火山の規模に関する既往の知見としては中段に、中段と、あとその下ですね火山現象の調査結果ということで整理してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:40:30	今回例えば、
01:40:35	西ノ島ですとか、福徳岡野場ですとか、
01:40:40	ページで言うと例えば 20、264 ページの福徳。
01:40:46	岡野場ですとか、
01:40:49	と、
01:40:51	248 ページの西ノ島ですとか、近年活発に活動している火山もあるということもあって、こういったところの知見はいろいろと拡充されていることもあり、いろいろと追加をさせていただいております。
01:41:05	はい。以上です。
01:41:08	はい。これ、一部修正って書いてあるページがそうだと思えば違うのかな。
01:41:15	でもみんな一部修正ほとんど入ってるのか。
01:41:19	そう。そうですねはい。基本的にはそうとらえていただいていた方がいいんですけどちょっと規模以外のところでもう特徴、
01:41:28	上の特徴の欄ですとか修正したものがあれば一部修正になってるんですけどちょっとそれだと見づらいかもしれないです。はい。
01:41:37	西ノ島なんかで言えばね最新の噴火自体がそもそもっていうので、大体文献とか産総研の土岐町長の後の括弧書きとかこの辺が以浅。
01:41:48	21 とか 2022 とかとなっていれば、そこアップデートしたんでしょうってということだと思うんですけど。
01:41:55	9 本ここに書いてあるのは、文献。
01:41:59	あとは代表的な方に関するカタログ、これはだから、金カタログなんで、何て言ういわゆる主要なもので、それ以外のものも一応次で拾う。
01:42:12	てはいるわけですね。はい。
01:42:14	調査結果から、過去最大、はい。
01:42:22	火山噴火規模に関する既往知見、火山現象の調査結果、
01:42:27	はい。どういうタイプ。
01:42:29	過去最大の噴火規模。
01:42:36	例えば小西の西井浦島は最近のもんだからあんまり、
01:42:41	そうか持ってきてもしょうがない。
01:42:44	基本過去最大の噴火規模とかいろいろ記載ありますけど、
01:42:48	ここは、
01:42:50	どっから持ってくるんですかねこれ。
01:42:53	すみません、あんまりなんか火山、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:42:55	影響評価の方の審査の内容を、今、確認するつもりもそこまではないんですけど、とはいえ、
01:43:02	新しくアップデートしてどういうもの、知見、
01:43:06	を中心に、今回の評価の規模だったり差異を拾ってるかっていうのを、
01:43:11	基本の考えだけ聞いておきたいんですけど、基本は、
01:43:15	やっぱり産総研とかそういうような情報をもとに、
01:43:18	優先して最後、
01:43:22	火山現象の調査結果から最後こういう規模を設定しますっていうのを決めてるんですか。
01:43:28	はい。中部電力の永松です。
01:43:30	本編資料の 96 ページに、すみません資料を飛んでしまいますけども 96 ページに、
01:43:39	TOKIO の知見の、
01:43:41	調査ということで、代表的な、まず、今鈴木さんのおっしゃったように代表的な火山カタログですねを見て行って、あと地質図版ですとかを見て行って、それに加えて知見をさらに集中するという
01:43:55	形になっております。今、鈴木さんのおっしゃったようにまずか、カタログの方ですねしっかりと整備されている火山ですと最大規模がまず拾えてくると。
01:44:08	それに加えて、プラスアルファで知見、個別の知見を見て行ってそれよりも大きいものが言われてるものがあればそちらを採用するといった形で、基本的には対応しております。
01:44:23	を、
01:44:26	はいはい。火山カタログではっきりしたものがあれば基本それを採用すればいいんですけど、
01:44:32	ではないものがまさしく今回仮想的いき方を設定せざるをえなかったと。
01:44:37	部分なんではいい。
01:44:39	それか何カタログにならないと或いはそれ以降に、国際基金に文献だけがポーンと出た場合は、
01:44:47	当然規模が起き変わらないんだったら別にいいんですけど、そこも何かとりあえず新しく何か少し大きい規模、大きめの規模が出たからじゃあ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:44:56	変えましょうかって言うとそこは、そこは本当に変えるかどうかっていうのは、
01:45:01	やっぱり新しい知見の熟度というか、そういうのも見ながら、最後判断されるってことなんですよ。とにかく論文が1本出たからはいじや買えますではないわけですね。
01:45:14	わかりました。一応、
01:45:17	はいはいはいはい。
01:45:19	と、あまり今回
01:45:21	どういう調査でどういうところから文献を拾ってきてデータを拾ってきてってところを1から3までやるつもりはないんですけど、ただ間が少し空いていたので、一応そこは
01:45:32	ただ、語ろうベースでいうと、ちょっと待ってください。何か変わったものって、
01:45:38	個別の文献ベースだとか山ごとにちょこちょこあるかもしれないんですけど、
01:45:43	ここで語ろうベースで、
01:45:46	変わったものって何かあるんですけど。ちょっとすみませんね、もともとの使用前照合が。
01:45:52	すみません。わからないので、
01:45:54	あんまり見やん足らない。2000、例えば何々20202021とかっていう、何かありますこれ、今の本編でいうと、
01:46:05	そこは今、前後する部分かもしれませんが、
01:46:08	すみませんちょっとパッとあれなんですけど Catalog レベルで変わったものというとなかなかないかと思っております。
01:46:43	なんか多分西ノ島は実際に今まさしく見てるのでそれによって変わったりとか、
01:46:49	あと一応何か黒田氏は、ついこの前の論文が、
01:46:53	とりあえず3回って言う回数だけの話で、規模は不明のままですけど、それが入ったりぐらいで、
01:47:01	あとは基本的に陸上火山を追加してでもそれはもうもともとされている Yamamoto2015 とかのものを入れたっていう表に入れただけだから、
01:47:13	あんまり根本から変わったようなものは、
01:47:18	なさ日かな。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:47:27	ちょっと今回
01:47:31	ちょっと、何とか入口、1からなんかやるつもりもちろんないんですけど、当然この間、間が空いてたので、今回それにあたってきちんと知見収集してスクリーニングして新しいものに、
01:47:41	アップデートしているんですね例えばどんなもんですかという話が、
01:47:45	仮に甲斐はそのときに何か会話が成立。
01:47:48	ぐらいには、
01:47:50	ちょっともう1回、どういうものを入れたのかっていうのは、頭の中で、
01:47:55	整理しといてください。
01:47:57	はい。衛藤中部電力永松です。衛藤も、もともとそのカタログが整備されてたような火山でちょっと、修正っていうものはちょっとないかなと思うんですけども、
01:48:08	海域の火山で言いますともともとのデータ自体がそもそもない。
01:48:13	ものがほとんどだったのでちょっとした知見が追加になるとそれによって数字もちょっと変わってるよっていうところがあるといったようなイメージでございます。
01:48:22	具体的には先ほど申し上げた西ノ島ですとか副とこうかなとは、になりますけども、はい。例えばですねはい。
01:48:31	はい。
01:48:49	衛藤の山下です。火山現象の方のところ、二つ確認させてください。
01:48:57	本編資料の115ページ目のところで、
01:49:01	先ほど盛さんと佐口他のでやりとりされたところだったんですが、上の四角の三つ目のポツの前野安藤今村。
01:49:10	欄のところからですね。
01:49:11	こちらのご説明聞いて案、なるほどなと思ったんですけどもまずここでは、前野アンド今村2011によると、少なくとも、
01:49:22	海中噴火の津波と、
01:49:24	カルデラ陥没の津波が同程度だったと。で、かつ、御社が
01:49:31	特にパラスタもされて、その結果も踏まえて、最終的には、他の地域でも
01:49:37	同様になるだろうというふうな考えに基づいてるっていうところで、
01:49:42	理解としてはまずよろしいでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:49:48	中部電力の盛です。すいません、ちょっと説明が悪かったかもしれないけど我々がパラスタしてるというわけではなくて、
01:49:55	115 ページの下にもう、木須紗代ちょっと明確に書いてないかもしれないですけど、
01:50:01	前野今村 2011 の方で、パラスターをしまして、2 ポツ目の 2 行目もあったというところで、一番効率が高いところから、
01:50:12	具体的には 1 分ぐらいから 1 時間ぐらい前はパラスターを、前野今村がやっている。
01:50:17	で、その結果津波高がそれによってすごく変わるということがなかったということ、文系の方で検討していますので、そこを見て、上の箱書きを記載させていただきました。なるほど。
01:50:29	そうすると、クラカタウを対象にしたパラスターということなんですね。はい、わかりましたありがとうございます。
01:50:37	それで一方で前の安東今村 2011 の方が、前回の資料の補足資料の方で、何ページだろう。
01:50:46	312 ページ辺りに書いてあると思うんですけども、
01:50:53	海中、今回この、
01:50:56	ちょっと、
01:50:57	ない、この論文の内容でしっかりと把握しなくて恐縮なんですけど、ここで読み取るとこれ、火砕流の方の計算をしてるようにも、
01:51:07	見受けられるんですけども、
01:51:10	これはどういう理解でよろしいのでしょうか。
01:51:15	はい。中部電力の盛です。こちら前野今村自体は噴出物が火砕流だというふうに仮定をして検討しているものですので、火砕流の火砕流が噴出したときに津波がどうなるかというような検討をなされています。
01:51:28	なるほど。そうすると先ほどおっしゃってた、海中噴火のものと、
01:51:34	カルデラ単ポツのもの、そのうちの海中噴火のものっていう会長噴火による津波っていうのは、
01:51:40	この前の安藤今村でいうと、火砕流に対応してるっていうことでしょうか。
01:51:46	はい。おっしゃる通りです。なるほど。そうするとまた本編資料の 115 ページに戻っていただきますと、
01:51:53	甲斐。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:51:55	主票の表っていうんですかねフロー図の方見ると、火砕流の会計の土地による津波と会長文化って別々になってると思うんですが、
01:52:05	今回
01:52:08	なんでしょう。
01:52:09	海中噴火の方の式を使って、評価されてると思うんですがそ、その辺りの整合性ってのはどうなってるんでしょうか。
01:52:19	はい。中部電力の森です。火砕流、
01:52:22	海中噴火は火砕流か何が出てくるかというところあるんですけども、
01:52:27	火砕流も含めて、海中から何らか噴出すると。
01:52:32	で、
01:52:34	もう一つの、今おっしゃられた衛藤葛西李の会計の突入を陸上で、
01:52:40	噴いた火砕流が、勢いをつけて、海中に突入するときの津波だということなので、陸上か、海中かの間違いというふうに考えています。
01:52:50	江藤 312 ページの枕型のところへの適用性検討で、引いている。
01:53:00	左側ですかね。紛失の噴出率なんかの関係については、海中であろうが、陸上であろうがどちらでも適用できるだろうというふうに考えていますので、
01:53:11	こちらの噴出率は、海中噴火の方でも左右さしていただいています。
01:53:18	ありがとうございます。
01:53:19	うん。そうですね。
01:53:25	今のお話、伺ったところ、昆、この海中噴火カルデラ陥没等による津波っていうところで 1WAC になってるところが、
01:53:34	もしかしたらその火災でいうとカルデラ陥没を同時に考えた場合には、火砕流の方で代表できるような、そういうロジックになってるような気もしたんですけども。
01:53:47	そうですねただ、一方で、その火砕流と海中噴火も同一として考えられると。
01:53:54	そういう場合には、この海中噴火カルデラ陥没等の津波も、ワンセットとして考えられるかなと思うんですが、
01:54:01	そうですねば、ちょっとそこが、どういう関係になってるのかなというのが気になりました。はい。ありがとうございます。
01:54:35	はい。
01:54:36	一通り、
01:54:39	よろしいですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:54:40	ええ。
01:54:41	そうしたらやっぱ、
01:54:45	しますか。
01:54:47	今日が、
01:54:50	4月5日ということ少し今回、大分コメント回答の方で、全体の流れ対応があるので、基本的には、
01:55:03	少しこの辺り手直しをしてもらって、
01:55:07	私どもは来週の
01:55:10	審査会合の議題で議論する。
01:55:13	ことを考えております。
01:55:16	いえ、
01:55:20	一応今回コメント回答ということでコメント回答の中にもちゃんと全体の流れが外を書いているので、これが、
01:55:27	資料として、
01:55:29	であって、
01:55:31	当然何かこれまで説明してきたりこれまでのデータ集みたいなの。
01:55:34	ところは、これなんですか参考。
01:55:38	参考1、参考2なのか、すみません資料番号は何か投資なので、その右方に参考ってつくのか。
01:55:48	どう考えています。
01:55:50	中部電力浜野でございます。机上配付じゃないから、資料としては多分1-1、1-2-3の方ですね、なろうかと思っておりますが、
01:56:02	ご説明って意味ではコメント回答を中心に全体を、
01:56:09	触れながら説明するのかなというふうに考えてございます。
01:56:15	コメント回答資料の中にある概要とかまとめみたいなのので説明するそれとも、
01:56:21	何か資料多分おそらく
01:56:25	コメント回答じゃない裸の地震以外の要因による津波ってのは多分1-2、1-2なのか、に何か
01:56:32	やはり枝番でいうところになりますよね。
01:56:35	これを使って説明の時にこれを使って、全体を説明するわけではなくてコメント回答の中で一旦、
01:56:43	会員完結させるようなイメージで、ちょっと説明時間とかねその辺も考えてもらえばと思うんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:56:51	はい。中部電力の盛です。今回はコメント回答の中で、概要も含めて、説明できるような資料構成として作っておりますので、基本的に説明自体はこちらのコメント回答の方でできると考えています。で、
01:57:06	今回地震地すべり火山のパッケージとしても、審査を弊社としては終えたいということも考えてますので、そのパッケージ化したものも一緒に出させていただきますけれども、
01:57:19	基本的には説明は、コメント回答の方でできると。
01:57:24	はい。なんで起こってる論点をこのコメント回答で回答して、うまいルート全体は概要このような形になってございます。こんど今回コメント回答しようがないも含めて、
01:57:36	これは3、
01:57:39	一緒について分厚い方の参考、さらにビリンス補足という形で取り込んでありますと。
01:57:45	ということで、補足説明資料を、説明の中では直接はつかないわけですね。
01:57:51	本編
01:57:54	もちろんね、参考なんで質疑のときに、コメント回答部分でさらに深掘りした、そもそも何だったかっていう話になれば、補足説明資料なり、
01:58:03	本編を使って説明する場合ももちろんあるでしょうけど、はい。説明はあくまでコメント回答で、これだと。
01:58:10	何分ぐらいですかね。
01:58:34	はい協議。
01:58:36	の説明の感じから言うと20分ぐらいかなと。
01:58:40	います。はい。
01:58:42	わかりました。
01:58:45	うん。うん。わかります。そのぐらい、30分以内ですか。はい。30分以内ぐらいですね。よろしく申し上げます。
01:58:53	はい、わかりました。
01:58:55	はい。
01:58:57	よろしければ本件は1という来週会合にかけて議論。
01:59:03	後で介護用の資料の方ですね、また案内しますんで提出お願いします。はい。
01:59:10	じゃあよろしければ。はい。以上で浜岡の地震以外に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:59:16	はい。何かあります。はい。
01:59:22	限りすべりのところで、すいません、ちょっと多分前も説明いただいと 思うんですけど、念のため確認させて、10 ページのところで、
01:59:30	海底李滑りに関する地形判読調査ですみません敷地から約半径 100 キロ 目安ってあるんですけど、
01:59:36	それ右の図のところで、
01:59:39	海溝軸の、すみません、何だろう、南側の方とかって入ってないのっ て、
01:59:46	何でやってなかったのかとか書いて判読書いていた海底地すべりの跡が 見たけど、なかったっていうところでよろしかったんですけど。
02:00:00	はい、中部電力の森さん、こちらの、
02:00:03	あったものをクローズアップするにちょっと欠けてますけれども、実際 に調査している範囲は本編の資料の方に、
02:00:10	載せておりました、
02:00:14	本編の
02:00:20	に、25 ページが 18、
02:00:27	25 ページが実際にやっている他地形判読調査の範囲で、
02:00:33	南側も含めて 100 キロをカバーするように判読をしています。
02:00:38	で、同じく文献についても 18 ページの方に、
02:00:44	文献調査の範囲ということで載せてまして、こちらちょっと 100 キロは み出てるようなところも含めて、調査をした上で、検討に
02:00:53	移ってっております。すみません。ありがとうございました。この駿 河湾でグレーのところと、
02:00:59	飲酒等沖のところでちょっと空白域っぽいのがあるのは、あそこは快適 滑り跡がないから、
02:01:05	入ってないってことですね。はい、わかりましたありがとうございます すいませんでした。
02:01:14	はい。
02:01:15	あそこは本当にないんでしょうか。
02:01:16	その冗談ですけど。はい、わかりました。
02:01:20	はい。
02:01:21	ということですね。一応そうか 25 ページとか見るともともともう 2005 年 2010 年ぐらいで、
02:01:28	よってあと自社でね判読で出してる。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:01:32	ここがだから、
02:01:33	置き換わるような、
02:01:36	ものがあったり、改めてここでも言われていって、
02:01:40	そういうもともと当社判読ってなってるところが実は最近の文献で、
02:01:45	指摘されたとかってそういうのも含めて特にはない。
02:01:48	ということでいいですよ。
02:01:50	はい。
02:01:50	当然新しいものはないっていうのはそうなんですけど、
02:01:54	ここ見る限りだと、
02:01:55	もうすでに言われてるものが別の部分でも文献でも、改めてっていうものも含めて、
02:02:01	何か新しいものなさそうですけど。はい。
02:02:05	はい、じゃあ、以上でよろしければ、ヒアリングの方は終了したいと思いますお疲れ様でした。
02:02:12	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。